



図1. マルチプレックスPCRとキャピラリー電気泳動によるSTR多型解析

雄核発生による全奇胎 (1精子受精と2精子受精), 正常卵への2精子受精による部分奇胎 (3倍体), および流産組織 (2倍体) について, 5種類の染色体の6カ所におけるSTR多型解析の実例を示す。

雄核発生では絨毛組織のバンドはすべて父親由来である。母親由来のバンドを持たないローカス (図中矢印) が認められる。1精子受精では全ローカスにおいてバンドは1本であるが, 2精子受精では2本のバンドを有するローカスが認められる。3倍体では, 絨毛組織はすべて両親由来であり, 3本のバンドを有するローカスが認められる。2本のバンドは母親由来のバンドと一致せず, 2精子受精と考えられる。正常2倍体の流産絨毛はすべて両親由来であり, 母親バンド1本と父親バンド1本が認められる。